

会 議 録

会議の名称	平成27年度第1回ふるさとづくり事業選定委員会
開催日時	平成27年10月5日(月) 開会：午後1時30分 閉会：午後4時30分
開催場所	行田市商工センター403研修室、現地
出席者(委員)氏名	川島将史委員、横山晋一委員、岡田則之委員、尾澤照男委員、松本博之委員、朝見康夫委員、小森百合委員、島田 徹委員、斎藤和也委員、鈴木紀三雄委員
欠席者(委員)氏名	
事務局	企画政策課：岩田課長、浅見政策推進幹、田島主査
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・提案団体によるプレゼンテーション ・質疑応答 ・現地確認 ・提案事業の審査
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・第1回選定委員会の進行について ・行田市ふるさとづくり事業の選定方針について ・行田市ふるさとづくり事業評価シート ・資料1 平成26年度事業完了報告
その他必要事項	傍聴者なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>司 会 川島副市長</p> <p>司 会</p>	<p>第 1 部（公開提案会）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 副市長あいさつ 3 進行の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議進行について説明させていただく。まず、本日の選定委員会では、「足袋蔵等歴史的建築物改修・活用事業」（A事業）の提案が1件、「行田らしいまち並みづくり事業」（B事業）の提案が3件あり、合計4件の審査を予定している。 ・ 会議は、3部構成で第1部が公開提案会、第2部が現地確認、第3部が提案事業審査を行う。 ・ 第1部では、このあと提案者である「行田市民大学活動センター」の皆様から、公開プレゼンテーションを行っていただく。プレゼンテーションの時間は20分間で、発表開始後、15分経過時にベルを1回、終了2分前に2回鳴らし、経過時間を知らせる。 ・ プレゼンテーション終了後、委員からの質疑応答を20分程度予定している。質疑応答は、時間も限られているので、要点を絞った質問、簡潔な回答にご協力をお願いします。 ・ 続いて第2部では、現地に赴き、改修予定の建物を実際に確認いただく。時間は30分程度を予定している。 ・ 現地確認後、プレゼンテーション及び現地確認を踏まえ、委員には、評価シートを記入していただく。その後、こちらの会場に戻り、評価シートを回収、集計する。 ・ 続いて第3部では、評価シートを基に提案事業の審査を実施し、当委員会としての意見集約を図り、審査結果をまとめさせていただく流れとなっている。 ・ 続いて本日、審査をいただく10名の「行田市ふるさとづくり事業選定委員会」の委員をご紹介します。 委員長である川島委員、横山委員、岡田委員、尾澤委員、松本委員、朝見委員、小森委員、島田委員、斎藤委員、鈴木委員。

<p>司 会</p>	<p>委員の皆様、どうぞよろしく願います。</p> <p>4 提案団体によるプレゼンテーション・質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、早速、プレゼンテーションに移らせていただく。 ・「行田市民大学活動センター」の皆様よろしく願います。
<p>行田市民大学活動センター</p>	<p><プレゼンテーション></p>
<p>司 会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、委員の皆様、ただいまの提案に対してご意見・ご質問があれば願います。
<p>小森委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設計について、1階の床材が長尺シートで、2階が長尺シートと一部フローリングになっている。1階部分は庇の張り出しが非常に少なく、入口が長尺シートになっていると剥がれるおそれがあると思われる。また、2階のフローリング部分はスリッパを使用するが、トイレは土足に履き替える必要があり、不便が生じると思われる。 ・トイレが2階のみで、市民大学の方は、高齢の方が多いと伺っており、不便ではないかと感じる。 ・トップライトが南側にあり、遮光を考えていないと夏は非常に暑くなると思われる。 ・事前にいただいた資料には、1階に洗面台が無いが、プレゼンテーションで示された図面には付いている。この違いは何か。
<p>行田市民大学活動センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図面の変更については、今回の申請後に使い勝手を再検討した中で、一部修正したものであり、掃除用の洗面台である。 ・1階の出入口は、塩化ビニールシートの仕様になるが、下屋根があるので雨水は入らないと考えている。 ・トイレを土足にしたのは、1階を土足としたためであり、事務所を使う方が履き替えることについては、問題ないとする。

<p>小森委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トップライトの位置は、階段部分のみ南側とし、それ以外は北側に変更する。 ・了解した。次に見積書について確認するが、建物全体でコンセントが4箇所しかない。例えば、音楽会を開くといった場合、電子機器を使用する。他にもパソコンなどの使用が考えられるが、非常に少ないと思われる。
<p>行田市民大学活動センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセントは、1階、2階ともに増設するようにする。
<p>小森委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・了解した。次にミニキッチンがIHヒーターとなっているが、現状、こういった建物でIHヒーターを使ってお湯を沸かすことはほとんど無いと思われる。IHヒーターよりもコンセントを付けて、電気ポットで沸かすのがいいのではないか。また、ミニキッチンは収納が少ないので、上に吊り戸棚がある方が使いやすいと思われる。 ・2社の見積書を拝見すると、項目や数量が全く同じであるがどういうことか。
<p>行田市民大学活動センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニキッチンについては、電気ポットの使用も考えているが、何か煮炊きする時に不便であり、ガスを入れる訳にもいかないので設置することとした。また、吊り戸棚については設置する予定はない。 ・見積りについては、設計士から仕様をいただき、その仕様を基に見積りを依頼したためである。
<p>司 会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご意見などはあるか。
<p>尾澤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活用頻度について、市民大学の講座がメインになると思われるが、それ以外の有効利用は考えているのか。また、維持管理の費用に

行田市民大学活動センター	<p>ついて、正会員が 50 名で会費 7,000 円、準会員が 200 名予定されているが、正会員には、生徒が含まれているのか確認したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用頻度についてであるが、市民大学ではグループ研究や卒業後のクラブ活動が盛んに行われている。毎年、グループ数が増えて、現在では各地域公民館に便宜を図っていただいている状況である。かなりの会議数があることから、少なくとも週 5 日以上は、どこかのグループが活用するようになると思われる。また、市民向けの講座なども検討しており、この蓮華寺通りに毎日、人が行き交うようになると考えている。 ・会費については、現在、NPO 法人化の準備を進めており、それに賛同する会員 50 名と市民大学同窓会のメンバーが 200 名を超えているので、そのメンバーに協力いただくことを予定している。
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご質問があればお願いします。
松本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2 点確認させていただくが、常駐されるスタッフはいるのか。また、事業目的に「まちづくり活動センターの拠点づくり」とあるが、「行田市民大学活動センター」との違いがあるのか。
行田市民大学活動センター	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所としての利用を予定しているので、当番制で常駐することを考えている。また、市民大学活動センターとして、まちづくりに関する様々な活動を展開していくということであり、同じものである。
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご質問があればお願いします。
横山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・設計業者は、この改修に関して行田市の建築主事に相談しているのか。

<p>行田市民大学活動センター</p> <p>司 会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計業者に確認はしていないが、相談しているはずである。 ・ 他にご質問はあるか。ご質問等がなければ、間もなく 20 分を経過するので、質疑応答についてはこれで終了とさせていただき、この後の現地確認の際にご質問等があれば、その場で聞いていただきたい。第 1 部については、これで終了とさせていただく。 ・ 次に第 2 部について説明させていただくが、本日の現地確認の時間は、行き帰りを含め、概ね 30 分を予定している。午後 2 時 50 分を目安に現地確認を終了し、休憩後、午後 3 時から第 3 部の審査会に入らせていただく。 ・ 評価シートについては、戻り次第、回収させていただくので、それまでに記入をお願いします。また、部屋を離れるので、貴重品は、携行をお願いします。
	<p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">第 2 部（現地確認）</p> <p>< 「時田蔵」現地確認 ></p> <p>< 評価シート回収・集計 ></p>
<p>司 会</p> <p>議 長</p>	<p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">第 3 部（選定委員会）</p> <p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第に従い、「議事」に移らせていただくが、ここからは、「行田市ふるさとづくり事業補助金交付要綱」第 10 条の規定により、川島委員長に議事の進行をお願いします。 ・ それでは、暫時、議長を務めさせていただく。議事の進行が円滑に進むよう、皆様のご協力をお願いします。

議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・初めに、会議の公開・非公開に関する取扱いについて、確認させていただく。本日の会議は、議事の中で、個人情報の一部含まれているが、申請者の了解をいただいているので、原則公開とさせていただく。また、会議録の作成は要点筆記とし、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて、公開させていただく。 ・それでは、議事に入らせていただく。 ・議事の（１）「提案事業の審査について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<p><評価シートの集計結果を報告></p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から評価シートの集計結果について報告があった。これより、委員の皆様から評価いただいた集計結果を基に、当委員会としての最終的な意見集約を図ってまいりたい。 ・1件ずつ審査するので、はじめに、「行田市民大学活動センター」について、横山委員から、順番に、評価シートに基づき、それぞれ所見と総合的な評価をいただきたい。
横山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には良いと思うが、皆さんにいくつかご意見をいただきたいと思っている。 ・配布資料の別紙3に許認可に関する項目があり、不要と判断されているが、階段の移築は建築確認を要するので、確認いただきたい。 ・本来、屋根についても主要構造部なので屋根の過半の修理も建築確認を要するがこれは東日本大震災を含めた改修として、実施している例もある。しかし、階段については、確認が必要ではないかと思われる。 ・現地確認時に他の委員から用途変更について質問されたが、既存は倉庫である。教室にするのであれば、有効採光10分の7以上で

横山委員	<p>開口部が必要になり、既存の壁では難しい。事務所にするのであれば、消防法の内装制限などの確認が必要になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、耐震指標について話をされていたが、簡略計算法であり、国が認定した建築防災協会が出している木造建築物の指標であるIw値を確認していただきたい。利用者の安全性を担保できる話になっているのか、やや疑問に感じたので、妥当性を「△」と評価した。 ・施工業者の見積りについては、設計業者が金抜きの積算書を渡したのであれば問題ないが、設計業者の見積書が設計のみで管理をしないのかが疑問である。 ・この事業を実施することには賛成であるが、指摘した点について、脇が甘いところがある。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・横山委員からは、階段の移築、用途や耐震の問題、設計管理の問題をご指摘いただいた。 ・続いて、岡田委員にお願いします。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・審査項目の妥当性を「△」としたが、運営に関して賃借料の話など、収支がまだ煮詰まっていないのではないかと感じた。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・岡田委員からは、収支に心配があるとのことご指摘をいただいた。 ・続いて、尾澤委員にお願いします。
尾澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、賛成であるが、公益性について「△」とした。これは要望であるが、市民大学活動センターの利用に限られることなく、広く一般市民が使いやすく入りやすい建物にしていきたい。 ・市民大学の教室としての利用は難しいように感じた。グループ活動の利用がメインになるかと思われるが、市民大学以外にも広く開放していただく工夫をお願いしたい。

議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・尾澤委員からは市民大学以外にも幅広い活用をしていただきたいとのご指摘をいただいた。 ・続いて、松本委員にお願いする。
松本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1つ、2つの理由で関連して「△」を4つ付けさせていただいた。まず、団体活動について、10年はともかく改修が完了した後の1年後、2年後、さらには中期的な計画について説明がなかった。 ・私も深谷で今回の提案と同じようにNPO法人で倉庫を改修して事業をしているが、10年も経つと人が入れ替わり、当初の人たちと思入れも全く違ってくる。文化振興等のソフト事業に関する説明がなかったので、今後10年間、持続的に運営が出来るのか疑問を感じた。 ・公共性の高いソフト事業や社会全体の利益につながるのかという面を考えると、市民大学に係わる活動が主要を占めて、一般に開放する具体的な計画の説明がなかった。人によっては、市が市民大学に関係する人たちの活動拠点として、助成したと捉える方やそのような意見を持つ市民が必ず出てくる。現時点では、活用の目的・計画を拝見すると貢献性について疑問を呈さざるを得ない。 ・横山委員からご指摘があった倉庫であると思われる今の用途について、今後、不特定多数の人たちが、常時入るようになった場合の用途変更の必要性や関連法令について、市として慎重に考えるべきであると思われる。 ・高額な助成事業であることから、公益性や持続性、広く市民が享受できるソフト事業の展開については、より一層慎重に考えていかなければならない。事業を進めるのであれば、事業計画や財政計画をしっかりと構築し、提出していただきたい。また、今後の事業評価についても実施していただきたい。

議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・松本委員からは 10 年間の運営体制や中期的な活動計画、また、公益性や関係法令への対応、財政計画や事業評価について、ご指摘いただいた。 ・続いて、朝見委員にお願いします。
朝見委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業そのものについては問題ないと判断した。ただし、貢献性については「△」とした。まちの活性化や賑わいの面から、幅広く一般の人や地域外の人が参画できるような活動を実施していかないと難しいのではないかと感じた。 ・建築上の問題が指摘されているが、これらの問題も解決していくことが必要であると感じた。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・朝見委員からは、活性化と賑わいの面である場所では幅広い活動としてどうか。関係法令については、慎重に対応すべきであるとのことをご指摘をいただいた。 ・続いて、小森委員にお願いします。
小森委員	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんの意見と同様であるが、経験上、図面と見積りを拝見すると内容に未熟さがあり、見積りは細かく書かれているが、よく見ると大雑把な感じを受けた。見積りは見る人によって受け方がそれぞれ違うが、例えばバリアフリーの視点がないと感じた。また、トイレが 2 階にあるなど使い勝手の悪さなどから、妥当性を「△」とした。 ・全体としては、建物が改修され、活用されることについては、非常に賛成しているので、もう少し改善していただければ、活性化につながるのではないかとと思われる。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・小森委員からは見積書に関する事、バリアフリーの視点が抜けていること、トイレの使い勝手についてご指摘いただいたが、概

<p>島田委員</p>	<p>ねあのエリアが整備されること自体は良いとのご意見をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・続いて、島田委員にお願いします。 ・評価としては全て「○」とさせていただいた。市としては周辺の街路整備を含めて、積極的にまちの顔を創出していくという考えのもとに、進めているエリアということで、活性化には「牧禎舎」も近くにあることから一定の効果があるのではないかと考えた。 ・松本委員から指摘されていた 10 年以上にわたって公益性の高いソフト事業の実施が成り立つのかという面で、単に箱物整備に終わってしまうことのないよう精査が必要であると思われる。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・街なかの顔を創出するというコンセプトとしては「○」であるがソフト事業については精査を要するという意見であった。 ・続いて、斎藤委員にお願いします。
<p>斎藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード面については、建築基準法やバリアフリー法に合致するかどうか計画性について、疑問な点がある。 ・ソフト面については、事業の充実の必要性を感じている。人の流れが無くては賑わいにはならないので、ご検討をお願いしたい。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・斎藤委員からはハード面では、横山委員から指摘されたところ、ソフト面では、人の流れがないと賑わいに結び付かないというところが心配であるとの意見であった。 ・続いて、鈴木委員にお願いします。
<p>鈴木委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当面は市民大学活動センターの事務所や関係者の利用に限定されてしまうと思われる。計画では、コンサートや講演会など広く門戸を開いた事業を実施することになっているが、具体的にどの程度活動できるのか詳しい計画が見えなかったため、公益性を「△」

鈴木委員	<p>とした。基本的には期待を込めての「△」であり、頑張っていた だきたいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の東側が地盤沈下しており、2階の床が一部歪んでいるので、 利用者の安全配慮を含めて改修をお願いしたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木委員からはコンサートなどの利用は今後期待したいという ことと、構造的な問題について意見をいただいた。 ・だいたい、委員の皆様からの評価とそれぞれ貴重なご意見を頂戴 した。これに関連して、各委員から、何かご質問などがあればお 願いする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、提案いただいた「時田蔵」周辺には、一昨年に改修した「牧 禎舎」をはじめ、「忠次郎蔵」や昨年度、B事業で改修した「時 田蔵」などの歴史的建築物が集積しており、今まで点であったも のが、整備を進めることで、線になり、相乗効果が生まれてくる ものと考えている。 ・行田市民大学についても、開校して6年目を迎え、これまで本市 の事業に関して、様々な面で貢献いただいている。 ・本日、委員の皆様からいただいた貴重なご意見については、 「行田市民大学活動センター」の皆様に伴帯意見としてお伝え し、事業の修正や改善をハード・ソフト両面において促してまい りたい。事務局としても附帯意見の趣旨に沿うよう力添えをした いと考えている。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局の意見について、委員からご意見はあるか。
横山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局の言われた方針で良いと思う。 ・市の建築主事が話しを聞いていないのであれば、建築確認等で 1、2ヵ月かかってしまうので、確認いただきたい。

議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見などはあるか。 <p><意見なし></p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、当委員会としての意見をまとめさせていただく。 ・基本的には事業に対して賛成であるとの皆様の意見を踏まえ、改善すべき点をいくつかいただいたが、これらの指摘事項を改善させることにより、総合的に判断して、本件に関し、本委員会の見解として事業認定することについて、ご異議はないか。 <p><異議なし></p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、本提案事業については、「足袋蔵等歴史的建築物改修・活用事業」として、認定することを決定する。なお、各委員の皆様からご指摘のあった点については、附帯意見を付すこととする。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、「行田らしいまち並みづくり事業」の3件の提案申請について審査を行う。B事業については、申請書の書面による審査となっているが、まず、「杉田宅の板塀改修」について審査する。 ・「杉田宅」の件に関して、委員の皆様からご意見、指摘事項などがあれば願います。
尾澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「妥当性」、「公益性・貢献性」を「×」とした。板塀だけの改修で、板塀の上の庇が壊れかかっており、それは直さないものと思われる。また、家と板塀の調和がとれていないのも理由である。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・家と板塀の調和が取れていないとのご意見をいただいたが、他に意見はあるか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・申請いただいたこの通りは城下町を偲ばせる通りの形状をしており、雰囲気のあるところであることから、まち並みづくりに貢献したいとのことで現状の鋼板の塀を杉板の塀に改修するものである。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他の委員の皆さんは全て「○」の評価をいただいているが、他に意見はあるか。
尾澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんの意見に賛同させていただく。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見がなければ意見をまとめさせていただくが、委員の皆様からいただいた評価が概ね事業に相応しいとのことであるので、本件に関し、本委員会の見解として事業認定することにご異議はないか。
	<p><異議なし></p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・本提案事業については、「行田らしいまち並みづくり事業」として、認定することを決定させていただく。 ・続いて、「松本宅の土蔵及び板塀改修」について審査する。「松本宅」の件に関しては、委員の皆さん全てが「○」の評価をいただいているが、ご意見、指摘事項や補足する事があれば願います。
	<p><意見なし></p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、意見をまとめさせていただくが、委員の皆様からいただいた評価に基づき、本件に関し、本委員会の見解として事業認定することにご異議ないか。

	<p><異議なし></p> <p>議 長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、本提案事業については、「行田らしいまち並みづくり事業」として、認定することを決定する。 ・ 続いて、「飯島宅の外壁及び雨樋改修」について審査する。「飯島宅」の件に関して、委員の皆様からご意見・指摘事項などがあればお願いします。 ・ 集計シートを確認すると全ての委員さんが全ての項目について「○」の評価をいただいているので、補足等があればお願いします。 <p><意見なし></p>
	<p>議 長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、意見をまとめさせていただくが、委員の皆様からいただいた評価に基づき、本件に関し、本委員会の見解として事業認定することにご異議ないか。
	<p><異議なし></p> <p>議 長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、本提案事業については、「行田らしいまち並みづくり事業」として、認定することを決定する。 ・ なお、本日、ご審議いただいた4件の提案事業の審査結果については、補助金交付要綱第8条第2項の規定により、後ほど市長に報告した上で、最終的な事業認定の可否を決定させていただく。 ・ 以上をもって、提案事業に関する審査を終了させていただく。 ・ 次に、議事の(2)「その他」とあるが、事務局から何かあるか。
事務局	<p><資料1 平成26年度事業完了報告に基づき報告></p>

議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、委員の皆さんから、連絡事項等を含め、何かあればお願いする。 <p><意見なし></p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、これにて議事を終了する。委員の皆様には長時間にわたり慎重審議いただいたが、これをもって、議長の職を解かせていただき、事務局に進行をお返しする。
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・以上をもって、「平成27年度第1回行田市ふるさとづくり事業選定委員会」を閉会する。 <p style="text-align: right;">(閉会)</p>